２００９　消化器系Ⅰ

計６枚

1. 市川
	1. 消化管ホルモンを３つ挙げなさい。
	2. ホルモンの作用機序について知るところをかけ。
	3. 粘膜保護作用について知るところをかけ。
	4. アダプティブ・サイトプロテクションについて知るところをかけ。
2. 小山
	1. 下痢を主症状とし、オーシストの経口摂取により感染する寄生虫は（クロストリジウム）であり、日本でまれにみられる。感染部位は小腸粘膜上皮の（微絨毛）である。
	2. （アニサキス）症は、その発症によって劇症型と緩和型に分かれ、Ⅰ型アレルギーとして発症するのは（劇症）型である。また、（内視鏡）により診断することができ、これにより治療も可能である。
	3. 裂頭条虫の代表的な駆虫薬は（プラジカンテル）である。
	4. （アメーバー赤痢）ではイチゴゼリー状の粘血便が特徴であり、これはタコ壺状の（潰瘍）によるものである。
	5. 嚢子保因者が感染源になっている寄生虫感染症は（ランブル鞭毛虫）と（赤痢アメーバー）である。特に、肝膿瘍を呈すのは（赤痢アメーバー）であり、（５類）感染症に分類され、患者発生の場合、医師は七日以内に保健所に届けなくてはならない。
3. 大部（記号選択問題）
	1. 食道感染症の原因ウイルス（３つ）
	2. バレット食道の原因微生物、好発部位、何癌か。
	3. 進行食道がん好発部位、何型か。
	4. 平滑筋肉腫と顆粒細胞腫は、何癌として発生するか。
	5. ルゴール染色は何と反応して褐色に染まるか。
4. 中村

ⅰ)アルコールの代謝

　　　　　　A　　　　　B

エタノール　　　　 ①　　　　②

　　　　　C:MEOS

* ①、②、A、Bの名前。
* アイソザイムのあるものはA,B,Cのどれか。
* アルコールによって強くなるものはA,B,Cのどれか。
* アイソザイムで欠損しているとアルコールが致命的になるものは。

ⅱ）肝障害で高アンモニアになるのに関与する代謝系は。

ⅲ）タンパク質、脂質、炭水化物で門脈から肝臓へ行くものはどれか。

ⅳ）一次胆汁酸と抱合型を１つずつ挙げよ。

ⅴ）以下のもので正しいものには○をつけよ。

* 外部から入ってきた化学物質の解毒は水溶性を高める。○
* 肝障害でALT上昇はアミノ酸代謝亢進による。
* フォンギールケ病では肝臓や腎臓にグリコーゲンが蓄積する。○
* 胆汁酸は約５０％が吸収される。
* 肝臓は作ったケトン体を肝自身で利用する。
1. 岡安

クローン病とUCの成因、病態、臨床上の特徴について比較しながら知るところをかけ。（表にしてもよい）

1. 日高

門脈圧亢進症の４つの原因とそれぞれに対する治療法について記せ。